

平成 30 年 6 月 27 日

高知県林業振興・環境部
治山林道課長

林道工事における土工（切盛計画）の設計積算について

このことについて、平成 30 年 7 月 1 日以降に設計積算する林道工事においては、盛土工及び埋戻工の断面区分及び適用歩掛かりを下記のとおり改訂します。

記

1、盛土工及び埋戻工について

- (1) 平成 29 年版治山林道必携に準じた積算とし、別添①及び②のとおり断面区分を細分化する。

2、積算歩掛けについて

- (1) 切盛流用計画に係る土工の歩掛けについては、森林整備保全事業標準歩掛（平成 30 年 3 月 29 日付け一部改正）を適用する。
- (2) 上記（1）以外の土工については、施工パッケージ型積算を適用する。
- (3) 土量変化率については、従来どおり擁壁前面の埋戻（BU（旧 BA1））及び崩土は地山換算することとし、森林整備保全事業標準歩掛の土量変化率は適用しない。

3、その他

- (1) 森林整備保全事業標準歩掛（平成 30 年 3 月 29 日付け一部改正）については、林野庁 HP を参照ください。
- (2) 災害復旧事業においても、上記 1 及び 2 の扱いと同様とする。

平成30年7月改訂に伴う林道工事における切盛流用計画に関する土工の考え方について

別添①

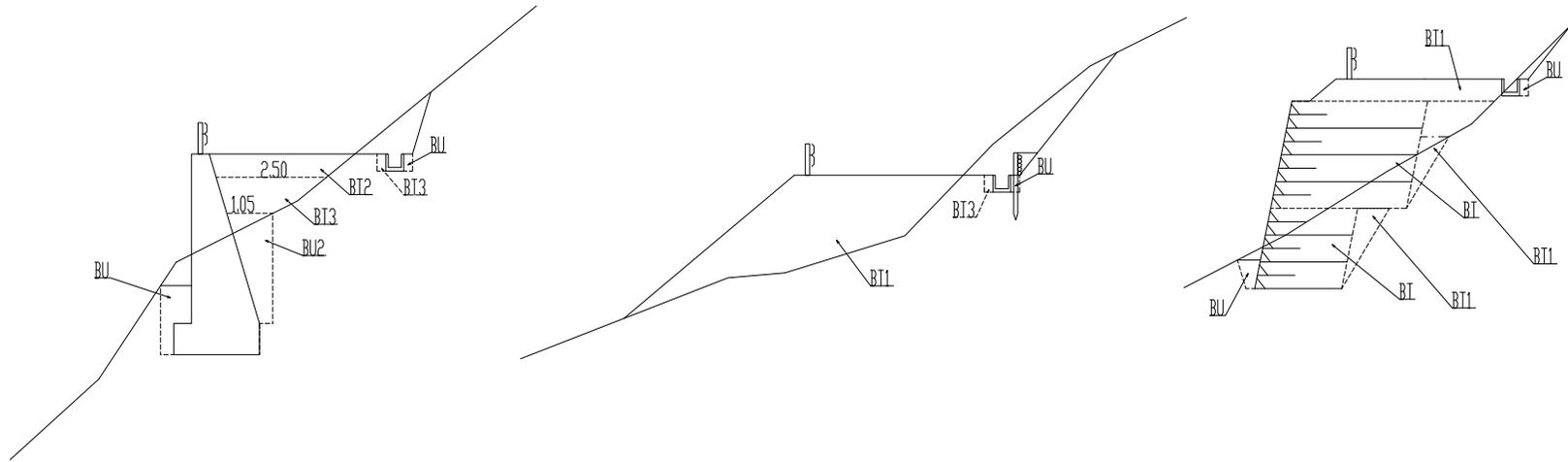
- 1・ブルドーザの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・11t」「3m以上1万m3未満・15t」「3m以上1万m3以上・21t」
- 2・バックホウの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・0.35m3」「3m以上1万m3未満・0.60m3」「3m以上1万m3以上・0.60m3」
- 3・ダンプトラックの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下 4t」「3m以上1万m3未満 10t」「3m以上1万m3以上 10t」
- 4・トラクタショベルの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・山積1.3m3」「3m以上1万m3未満 山積1.8m3」「3m以上1万m3以上 山積1.8m3」
- 5・人力岩掘削歩掛けについては、平成29年版治山林道必携に掲載がないため、留意事項に掲載する。
- 6・補強土壁(アダムウォール)の背面については、計算を補強土壁内の土とは、別に算出し計上を行う(BT1(旧BA))
- 7・ジオパックウォールについては、通常の擁壁工と同じ扱いで、埋め戻し歩掛けは『W=最大施工幅』に応じた歩掛かりを適用する
- 8・路体及び路床で「W < 2.50」については、締固めの単価しかないため、人力盛土(埋戻し)を別途計上
- 9・断面で、全盛土の場合は、すべてBT1(※旧 BA)とする

	記号		条件	備考	施工歩掛
	旧	新			
切土	CA	CA		従来どおり	ブルドーザ(11tもしくは15もしくは21t)
	CA1	CA1		〃	バックホウ(0.35m3もしくは、0.60m3)+ダンプトラック運搬(4tもしくは、10t)
	CA2	CA2		〃	人力による切取+バックホウルーズ(掘削後の土の運搬)
	CA3	CA3		〃	火薬併用掘削(軟岩I(B)以上)※大型ブレーカが使用できないところ
	CA5	CA5		〃	路面より下のバックホウ掘削
埋戻	—	BU1	(埋戻) 4.00 ≤ W	W=最大埋戻幅	普通作業員+バックホウ(0.6)+振動ローラ(ハンドガイド式0.8~1.1t)+タンパ締固め(60~80kg) (1.6人) (2.8h) (0.92日) (4m3) 100m3当たり
	—	BU2	(埋戻) 1.00 ≤ W ≤ 4.00		普通作業員+バックホウ(0.6)+振動ローラ(ハンドガイド式0.8~1.1t)+タンパ締固め(60~80kg) (4.0人) (4.0h) (1.35日) (10m3) 〃
	—	BU3	(埋戻) W < 1.00		普通作業員+バックホウ(0.35)+タンパ締固め(60~80kg) (4.0人) (6.0h) (100m3) 〃
	BA1	BU	締固め無し	普通作業員+バックホウ(0.6もしくは0.35) (0.04人) 1m3当たり	
盛土	BA	BT1	(路体) 4.00 ≤ W	W=施工幅員	普通作業員+ブルドーザ(11tもしくは15級) (0.2人) 100m3当たり
		BT2	(路体) 2.50 ≤ W ≤ 4.00		普通作業員+ブルドーザ(3t級)+振動ローラ(コンバインド型) (0.3人) 〃
		BT3	(路体) W < 2.50		人力盛土(埋戻し)+振動ローラ(コンバインド型) (S.2.4人又L.2.6人) 10m3当たり
	BA3	BS1	(路床) 4.00 ≤ W	W=平均幅	普通作業員+ブルドーザ(11tもしくは15級) (0.3人) 100m3当たり
		BS2	(路床) 2.50 ≤ W ≤ 4.00		普通作業員+ブルドーザ(3t級)+振動ローラ(コンバインド型) (0.3人) 〃
		BS3	(路床) W < 2.50		人力盛土(埋戻し)+振動ローラ(コンバインド型) (S.2.4人又L.2.6人) 10m3当たり
	BA2	BT	補強盛土内の盛土等		

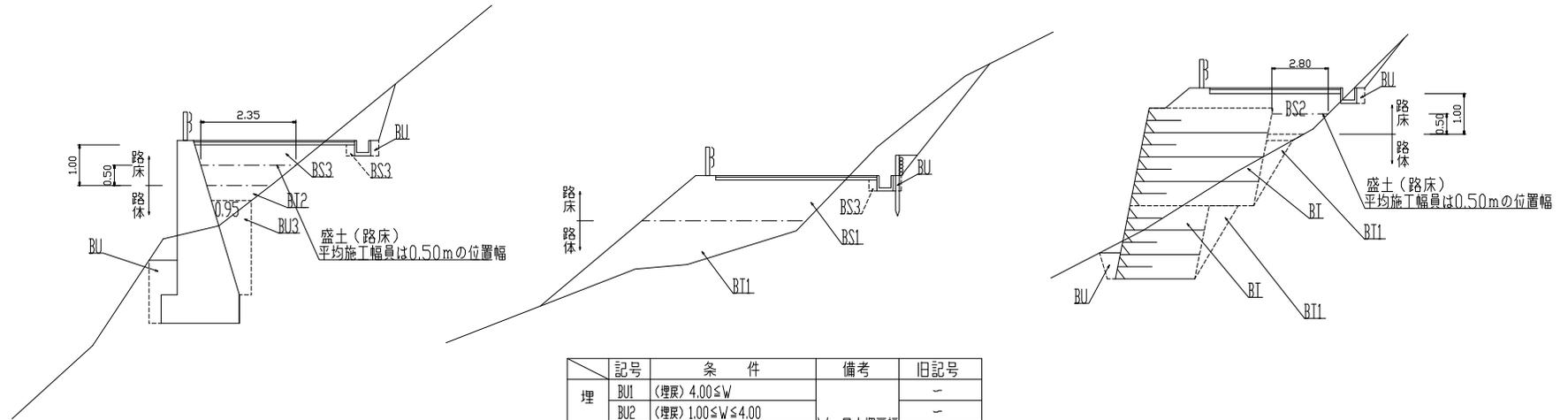
盛土及び埋戻しの土工区分（例）

別添

【砂利道の（舗装計画がない）場合】



【同時舗装の場合】



	記号	条件	備考	旧記号
埋戻	BU1	〈埋戻〉 $4.00 \leq W$	$W = \text{最大埋戻幅}$	—
	BU2	〈埋戻〉 $1.00 \leq W < 4.00$		—
	BU3	〈埋戻〉 $W < 1.00$		—
	BU	締固め無し		BA1
盛土	BT1	〈路体〉 $4.00 \leq W$	$w = \text{施工幅員}$	BA
	BT2	〈路体〉 $2.50 \leq W < 4.00$		BA
	BT3	〈路体〉 $W < 2.50$		BA
	BS1	〈路床〉 $4.00 \leq W$	$w = \text{平均施工幅員}$	BA3
	BS2	〈路床〉 $2.50 \leq W < 4.00$		BA3
	BS3	〈路床〉 $W < 2.50$		BA3
		BT	補強盛土内の盛土等	